

MATSUNAGA HEADLINE NEWS



2016 Vol.28

TAKE FREE

発行元：株式会社 松永建設
 発行人：松永大祐
 〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号
 TEL ▶048-798-1751 (代)
 TEL ▶0120-980-633 (フリーダイヤル)
 FAX ▶048-798-0075
 URL ▶http://www.matsunaga.gr.jp

感動創造建設会社
株式会社 松永建設

平成28年度税制改正大綱を読む

時代は「攻めの節税」!

大企業の法人実効税率が20%台に突入したことに大きな注目が集まる平成28年度の税制改正大綱。

全体を俯瞰すると本年度の大綱はどんな意味を持つのでしょうか?

節税の機会を逃さず企業の成長に生かしていただくために、

ビジネス・ブレイン 畑中税理士事務所の畑中孝介所長に改正の概要やその対策を伺いました。



ビジネス・ブレイン 畑中税理士事務所
 株式会社ビジネス・ブレイン
 畑中孝介所長

「平成28年度の税制改正最大のポイントは、アベノミクスの旗振りにより、大企業の法人実効税率が30%を切るころまで引き下げられたことでしょう」と切り出した畑中所長。第2次安倍政権がスタートするや、景気浮揚策の一環として法人実効税率の引下げが続いていましたが、ついに今年度、29.97%となりました(図表①参照)。これにより国際競争力が増したという側面もありますが、中国の25%台、韓国の24%台など、日本の産業界にとっての直接的な競争相手である東南アジア諸国と比べるとまだまだ低いとは言えません。経済・産業界からは、さらなる引下げを望む声が大きく、畑中所長も「少なくともこの先数年、法人実効税率はさらなる引下げへと向かう可能性が高いでしょう」と語ります。実際、2018年度には29.74%への引下げが予定されています。

中小企業にとっては増税が色濃い改正に

問題は、法人実効税率引下げの原資です。つまり、引き下げた分の財源はどこかで増税してバランスをとらねばなりません(概要は図表②参照)。その点、法人税引下げの恩恵を受けない中小企業にとって「残念ながら、今回の税制改正にあまり旨みはないと言わなければなりません」と畑中所長。中でも「生産性向上設備投資促進

税制」の縮小は大企業・中小企業ともに大きな影響を及ぼすのだといいます。

「生産性向上設備投資促進税制」は、アベノミクスの目玉政策。機械や装置、建物や構築物など、生産性を向上させる目的の投資であれば、たとえそれが何百億円であっても即時償却できる、あるいは一定の割合で税額控除に回せるという破格の節税効果が特徴です。これにより実際に企業の設備投資は上向き、とくに大企業の収益向上に貢献しました。

しかし、この税制は図表②の通り縮小となり、2017年(H29年)3月31日をもって廃止となります。また、似たような内容を中小企業向けに特化させた「中小企業投資促進税制」も同じく縮小、やはり2017年(H29年)3月31日をもって上乗せ部分が廃止になります。こうした流れを俯瞰してみると、税制にまつわる昨今の状況や傾向は以下のように分析できると畑中所長は語ります。

「アベノミクスにおける日本再興戦略は、弱者救済型ではなく選別支援型です。『生産性向上設備投資促進税制』にしろ『中小企業投資促進税制』にしろ、いわゆる節税の類ですから、事実上、黒字の企業しかその恩恵にあずかれません。忌憚なく言えば、収益を上げた企業に対して『積極的に投資をしなさい。そうすれば節税も叶うし、稼いだ後の税率も安いよ』とアメを差し出している状況。つまりは非

常に頑張り甲斐のある時代だと言えます」

とるべき手立ては「一刻も早く動く、攻める」

しかし、今回の税制改正があまり追い風にならない企業にも、打つべき対策はまだあります。それは「早く動くこと」と畑中所長。「上記2つの投資促進税制も縮小とはいえ、本年度一杯は有効。使わない手はありません。設備の刷新などを検討している企業はできるだけ早く投資を実行し、優遇税制の恩恵にあずかるべきです。ただし、上記2つのどちらも、優遇を受けるためには『この投資を行うとわが社はこのくらい収益が伸びる』といった投資計画の策定と申請・認定が必要です(※一部例外あり)。申請をせずに投資をしても、節税は使えません。終了期限

に間に合わせるためには、とにかく即刻動き出すことが重要なのです」

2つの投資促進税制の終了の代わりに、中小企業向けに新しい措置がスタートしたことも朗報です。上記2つは法人税や所得税に関する減免でしたが、新しい措置である「新たな機械装置の投資にかかる固定資産税の特例」は、固定資産税を減免するもの。黒字企業にしかなった投資促進税制とは異なり、赤字企業にも大きな効果があると見込まれています。

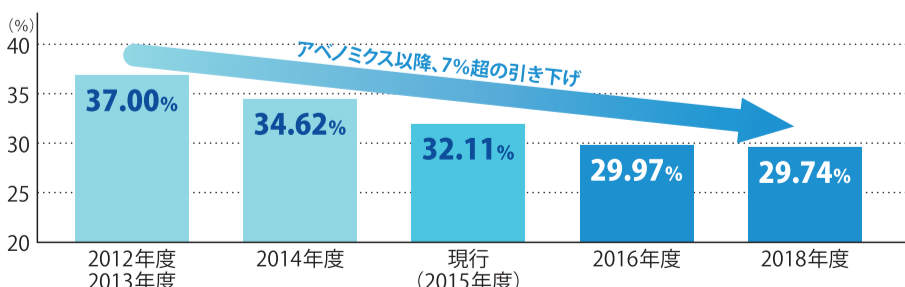
引き続き2面では税に関する話題を続けます。昨今の状況を鑑みた場合の不動産における効果的な節税法をお知らせしましょう。

図表② 平成28年度税制改正を踏まえた企業向け税制の概観

- **大企業の法人実効税率**……29.97%へ引下げ(引き続き減少傾向)
- **生産性向上設備投資促進税制**……間もなく終了 2017年(H29年)3月31日まで取得価額の50%を特別償却、または4%の税額控除(建物や構築物の場合は25%の特別償却、または2%の税額控除)
- **中小企業投資促進税制**……間もなく上乗せ終了 2017年(H29年)3月31日まで取得価額の30%を特別償却、または7%の税額控除(特定の設備の場合は即時償却、または10%の税額控除) ←この上乗せが終了
- **新たな機械装置の投資にかかる固定資産税の特例**……新設 中小企業が取得する新規の機械装置は、3年間、固定資産税を1/2に軽減 史上初の固定資産税における設備投資減税 赤字中小企業にも大きな効果あり 『中小企業経営力強化支援法』の施行日である2012年(H24年)8月30日以降、2019年(H31年)3月31日までの投資が対象
- **研究開発税制**……縮小
- **グリーン投資減税**……縮小
- **雇用促進税制**……実質廃止
- **中小企業の交際費等の損金算入制度**……2年間延長
- **事業所内保育園の優遇税制**……継続 保育事業の事業所税を非課税に また固定資産税、都市計画税、不動産取得税の優遇もあり

先手必勝です。弊社にお気軽にご相談ください。

図表① 大企業の法人実効税率の引下げ経緯



(出典: 経済産業省「平成28年度経済産業関係 税制改正について」)

「平成28年熊本地震」におきまして被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興をお祈りいたします。

「法人有利」の状況生かせ 賃貸物件経営の切り札とは?

「法人化」で 節税効果にさらなる効き目

本紙ではたびたび、相続税の節税などの観点から、遊休地を所有されているオーナー様や不動産投資をお考えのお客様に、賃貸物件の建設と運営の利点をお伝えしてきていますが、ぜひそういった方々にあわせてご検討いただきたいのが「法人化」です。賃貸マンションなどを個人で所有・運営するのではなく、資産保有会社を設立し、その法人で運営する手法です。なぜなら、「時代の潮流で、圧倒的にそのほうが節税になるからです」と畑中所長は解説します。

1面でお伝えした通り、今の世の中は「法人にやさしい局面」。法人実効税率が20%台に突入した大企業ばかりでなく、中小企業も従前から軽減税率が適用されているなど、概ね法人有利であることは間違いありません。この機に資産保有会社を起ち上げ、その法人有利の状況を生かすべきであり、そうすれば賃貸マンション経営は、より節税になるというのが畑中所長のアドバイスです。

「2年前の税制改正で、所得税の最高税率が従来の40%から45%へ引き上げられたり、同じく相続税の最高税率が50%から55%に引き上げられたりと、一般には増税傾向は大変顕著です。個人にとって厳しい時代であるわけです。たと

えば、あるオーナーさんの家賃収入が年に1000万円あったとしましょう。もし、この方が他でも収入を得るなどして所得税に最高税率の45%を払う立場だとすると、さらに10%の住民税も乗り、55%も税金として負担することになります。1000万円の家賃収入のうち、実に550万円です。もちろん実際には控除なども適用されるので、ここまで大きな金額にはなりません。ところが、同じケースでも、法人だと税金は300万円を切ります。倍近い開きです

これから賃貸マンションの建設をお考えの方がいらっしゃれば、「ぜひ同時に、資産保有会社の設立を検討してみてください」と畑中所長。この順番も重要だといえます。ひとまず建設し、一旦オーナー様個人の所有とした後に、改めて法人へ売却・移転することもできますが、二度手間となるばかりか、移転コストも2倍に膨れるためおすすめしません。評価額1億円の賃貸マンションであれば、不動産取得税や登録免許税など諸々を合わせ、500万円から600万円もの移転費用を覚悟したほうが良いといえます。

時代に先駆ける「自己信託」 法人への移転コストを大幅圧縮

では、もうすでに賃貸マンションのオーナーである個人のお客様は、膨大な移転コストも止むなしなのでしょうか? い

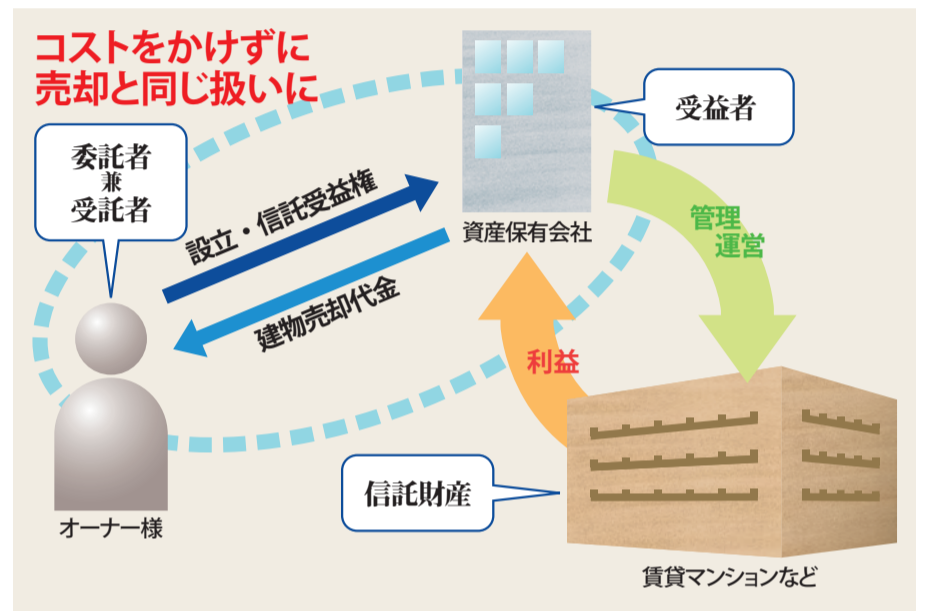
い解決法があります。その場合は「売却・移転という形をとらず、『自己信託』というスキームが大変有利です」と畑中所長(図表③参照)。

「オーナーさんはまずご自身の資産保有会社を設立し、そこに賃貸マンションの『信託受益権』を移転します。『信託受益権』とは収益を受ける権利ですね。そうすることで収益は法人のほうへ移り、売却と同じような扱いになります。違うのは移転コストだけ。なんと、売却に比べて自己信託への移転コストは、7分の1から9分の1程度まで圧縮されます。この

自己信託スキームは、まだ一般にあまり周知されておらず、始めている人も少ない手法ですが、確実に有効です。ぜひ視野に入れるといいでしょう」

信託という複雑な仕組みを想像しますが、自己信託ならばその限りではありません。信託銀行の存在や、そのためのまとまった準備金なども不要だそうです。弊社やグループ会社の松永都市開発でも、この自己信託スキームのご相談は随時お受けしております。どうぞお気軽にご相談ください。

図表③ 自己信託のイメージ



鉄筋コンクリート造の
高品質建築
安定の賃貸経営

節税なら松永建設のABオービットで!

土地や預貯金は眠らせておいてもほとんど利益を生み出しません。むしろ税金ばかりがさまたげにばかり、無駄な出費がかさんでいませんか? 相続税や固定資産税は賃貸物件を建てることで、かなり節税できます。

とはいえ「節税はしたいが、賃貸経営なんて自分にできるだろうか?」という不安も持ちでしょう。しかし、ご安心ください。松永建設が建てる高収益賃貸マンション『ABオービット』なら安心・確実の賃貸経営が可能になります。

- 坪単価40万円~の高品質な鉄筋コンクリート(RC)造
- RC造なら負債を長期化させることができ、相続対策に有利
- オーナーの収益性を考えた年12%の高利回り計算
- 入居管理からメンテナンスまで「施工後」もしっかりサポート

初期投資を極力抑えつつ確実な収益を生む『ABオービット』。弊社とグループ会社を通じて全力で皆様の「資産形成・運用」をお手伝いします。

節税のご相談や賃貸経営の疑問点、資産保有会社の設立のご相談など、随時お受けしております。どうぞお気軽にお問い合わせください。



社員寮
横浜市旭区 中山駅徒歩25分
RC造2階建 33戸

サンロイヤルII
戸田市大字下笹目 戸田駅徒歩2分
RC造7階建 48戸



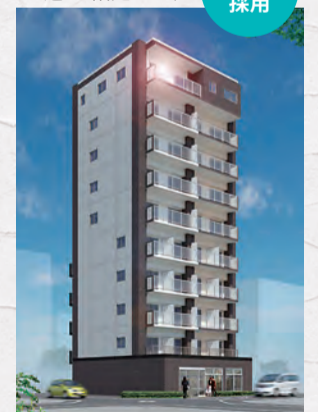
ABオービット 最新施工例

社員寮
さいたま市岩槻区 東岩槻駅徒歩14分
RC造3階建 25戸



TK 猿楽町レジデンス
千代田区猿楽町 神保町駅徒歩4分
RC造9階建 8戸

東十条マンション
北区東十条 東十条駅徒歩3分
RC造10階建 24戸



エール南浦和
さいたま市南区 南浦和駅徒歩15分
RC造3階建 14戸



お客様の
ご紹介

毎日のお茶の間も、非常時も。いつでもとっておきの「地元情報」を届けるために

株式会社テレビ埼玉様



◀本社社屋の隣に完成した別館。5年後には4K・8K放送を見据えて全面更新された機器がこの2階に並び、マスター業務の拠点となる



▲1階シャッターに描かれたテレ玉くんが「テレ玉らしさ」をほんのり自己主張。この奥は機材庫



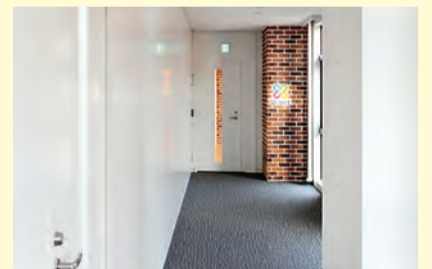
▲テレビ局の足であり機動力である中継車4台が出番を待つ。さまざまな取材や中継へここから飛び出していく



▲株式会社 テレビ埼玉
取締役 総務・編成担当総務局長 小嶋一晃様



▲いずれマスター室となる2階は、現段階では会議室や応接室などとして静かに待機。特殊仕様の床は、なんと厚み50cm。直径10cm近くにもなるケーブル類がその空間に多数這うことになる



▲3~4階には制作会社や技術の専門会社など、これまで分散していた関連会社を收容、オフィスとして使われている。集約を図ることで作業の効率化と共に、経費の削減なども叶った



▲重油の備蓄設備は引き続き工事中。1万ℓという大量の重油は、主に有事の際の自家発電に備えてのもの

この3月に完成したテレビ埼玉様の別館は、一見ただけでは閑静な住宅街の中ほどという立地にふさわしい、瀟洒なオフィスビルのようにも見受けられます。しかし、茶の濃淡のシックなタイルに覆われたその建物の内側には、放送・伝達という私たちの生活に欠くことのできない公共的事業と、課された責務の大きさが静かに出番を待っていました。

お話を伺った取締役・総務局長の小嶋一晃様によれば、別館新築の主な目的は2つ。テレビ局の心臓部たる「マスター業務」用の機器・機材の更新に伴う施設移転と、「BCP(=事業継続計画)」の遂行がそれに当たります。

マスター業務こそは、テレビ局における最も重要な仕事。制作された番組やCMに字幕やデータ放送、電子番組ガイドといったすべての放送用素材を統合し、信号化し、そして時間通りに正しく送信所へ送出する業務です。

「それらを確実にを行うために、十数年に一度はそっくり機器を全面更新し、ベストな状態を維持する義務を私たちは負っています。機器の規模は想像を絶す

ると思いますよ。何しろ建物のワンフロアを丸々費やさなければならないほど大規模、かつ精密なものですし、金額にして7、8億から10億円もするような機器なのです」

更新自体は5年後が目処。しかし、まずはそのための器である建物を先に用意し、設備と手はずを整えた上で一挙に移行する——そのための別館新築なのだといいます。何ともスケールの大きな話です。「一日にせいぜい1時間程度しか放送を休めない我々の業務の宿命でしょうね」と、目を丸くする取材陣に小嶋局長は笑顔で答えます。

2つめの目的であるBCPの遂行も、同じく放送の公共性と密接に関わっています。「3.11以降、非常災害時の備えは業種を問わず重要性を増していますが、中でも放送は途絶えさせることの許されないもの。どんな有事の際であっても『最低で3日間、望ましくは7日間』は放送を持ちこたえさせることを義務付けられています。別館ビルの新築には、そのための備蓄用設備投資という側面もありました」

果たして、通常の建築物の1.5倍の

強度を持った頑丈な構造、1万ℓの重油備蓄と自家発電機、そして屋上には太陽光発電パネル等々、多岐にわたる「備え」を有する別館の完成と相成ったのです。「テレビ埼玉は県民にとっての情報の砦でありたい。そうした重要な使命を帯びた建物の工事には万全の態勢で当たるべきと考え、信頼性と実績が確かな建設会社を選びました。それが松永建設さんでした」とのこと。改めて身の引き締まる想いです。

午後の情報番組「マチコミ」始め、春のリニューアルでは、より視聴者の求めに寄り添う内容を目指したという同社。またスポーツ振興県の名にふさわしく、スポーツ中継にも一層の力を注いでいくとのこと。[「地元の頼れる放送局」]に今後も期待いたします。

現場から

「通常の1.5倍の構造強度を持たせるための特別な杭が、製造の順番待ちで2ヶ月ほど工事に空白期間ができてしまったときは冷やりとしましたが、無事に納期に間に合い胸をなで下ろしました。工事の騒音や振動は番組収録の敵(笑)。その点も慎重に対処しました」(建築事業部・江森英夫所長)

お客様の
ご紹介

ウーマノミクス最先端！ 女性を「応援」する企業内保育園が完成！

『タムロンキッズ保育園』株式会社タムロン様



▲レンズを模した外観デザイン。きれいな弧を描いた形が印象的



▲建物内外にはたつぷり県材が。使用にあたっては、地産地消促進のための助成金適用が叶った

▼右手から左手へゆるやかに屋根が下がっていくユニークな構造。週末は園庭が地域住民に開放される

杉の香りと陽射しがあふれる優しい空間に、きゃっきゃと弾む子どもたちの声。さいたま市見沼区に本社を置く日本屈指のレンズメーカー、タムロン様とその敷地内に開いた企業内保育園『タムロンキッズ』には、こんな豊かな光景が広がります。昨年11月にタムロンキッズを開園した背景には、同社のウーマノミクスへの意気込みと女性従業員への温かいまなざしが感じられます。

「仕事と育児の両立を支援する働きやすい職場を作ること、それこそが女性従業員に活躍してもらう土台となります」と、にこやかな中にも強い想いを秘めた口調で語ってくださったのは、常務取締役の川鍋宏様。「保育園の始動が決まってすぐ、子どものいる社員を中心にプロジェクトを立ち上げました。実際に育ち盛りの子を持つ親にとり、どう子育てを望むか？という意見を正直に吸い上げたかったからです」

その結果、「病児保育」も可能な何とも理想的な保育園が誕生しました。「小さい子どもを抱えて働いただけでも苦勞が多いところ、熱を出したと連絡が来れば、親は取るものも取りあえず保育園へ子どもを引き取りにいかなくてはならない。これではいくら仕事を頑張りたくても難しい。そうした壁を是が非でも取り除きたいと、看護師を常駐させ病児保育が行えるようにしました。これは貴重な取り組み例と自負しています」

オープンすると、待ちかねたように社員のお子様5人入園。親御さんから喜びの声が上がったのは言うまでもありません。待機児童がなかなか減らない世間の事情にも配慮し、「地域に開かれた保育園にしたい」と、同園はこの4月から市の認可保育園としても機能、地



▲株式会社タムロン
常務取締役 川鍋宏様

域枠はあつという間に定員に達したといえます。

一方でタムロンキッズの建物は、レンズを模したユニークな形と、県材を内外に用いた温かみにあふれる造りも目を惹きます。「建物両端で高さが違う上に、三日月形をしたカーブの多い難しい構造、木造とRC造がミックスした工法など、施工は楽でなかったと思います。ですが、毎週のようにミーティングを開いては弊社の意向を漏らすところなく反映しようとしてくださり、松永建設には感謝しています」というありがたい言葉も頂戴しました。

現在でも女性の管理職比率が10%を数える同社ですが、川鍋常務は「女性が働きやすい環境の整備をさらに進め、2020年までには15%を目指したいですね」と、熱意を込めて最後に語ってくださいました。女性の期待、社会の期待を背負うタムロン様に、僭越ながら弊社からもエールを贈らせていただきます。



◀働く女性への大きなサポートとなる病児保育室。感染などのリスクを避けるため、玄関やトイレも別になっている

▼内部の梁も弧を描いて並ぶ。子どもたちは敏感、総無垢材の気持ちよさをきっと楽しんでいるはず



現場から

「自然素材の生かし方など、学ぶことの非常に多い工事でした。設計に趣向が凝らされていたため、材料の加工には特殊なプレカット機械を採用して進めるなど、いかに工夫するかを考え抜きました。難しい工事ながらもモノ作りの楽しさを味わい、初心に返ることのできる素晴らしい経験でした」(建築事業部・高橋寛臣所長)

事業所内保育園には優遇税制が

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、現在、事業所内保育園は一定の要件を満たせば、事業所税が非課税となるなど税制上のメリットが得られます。(※詳しくは1面を)

▶社員プロジェクトの案を容れて作られた階段は、上がり下りの機能訓練用。日常の中でいろいろなおことが自然に習得できるよう工夫が凝らされている



お客様の
ご紹介

「豊かに生きる」ために。上質のサービス、上質の心配りでおもてなし

『武里まきば園』社会福祉法人隼人会様



▲明るい心持ちは明るい色から。南国をイメージしたトロピカルな色合いの外観はインパクト大!

高齢者介護施設『まきば園』グループは「明るい笑顔と元気な挨拶、そしてやさしい心の介護」がモットー。そのまきば園の行田、岩槻、鴻巣に続く4つ目の特別養護老人ホームとなる『武里まきば園』が、3月1日に春日部市武里の地にオープンしました。早速、同園を訪れるとレモンイエローに水色の差し色が利いた、軽快で陽気な印象の外観に早くも心が躍ります。絵画がたくさん飾られた広々と開放的なロビーに驚いていると、すかさず「こんにちは、いらっしゃいませ!」と明るい声と笑顔。モットーは本当でした。

まきば園を運営するのは社会福祉法人『隼人会』様。理事長の根岸仁司様は「当園では職員の教育・育成に最も力を入れているといっても過言ではありません。建物や設備の良さ、食事の質を云々したところで、最終的に介護は『人』。職員の心もちが醸し出す雰囲気ややさ

しさこそが、住む人に快適さを提供できると信じています」。

聞けば、園内・園外を問わず研修の類はかなり充実させているとのこと。チーフ会議も毎月必ず開催し、ヒヤリハットの報告や稼働率の検討などを行うそうです。「園内環境の『見える化』、つまり透明性の確保です。また、職員にとっても意識やスキルの向上・研鑽の場になっています。自己の立ち位置を客観的に認識したり、失敗を率直に認めたりすることはやはり大切ですね。ぐんぐん成長してくれます」

武里まきば園は100床の全室個室型ユニットケアが介護の核。ユニットケアは昨今では珍しくなくなりましたが、介護ニーズの多様化に応えるために生まれた後発のサービスです。10床を一単位として個室がリビングを取り巻くように配置されていて、個々人のプライバシーを尊重しながらも、交流や共同生活の良さも生かすことができます。また、集団ケアである従来の多床室型に比べて職員数も多く、手厚い個別ケアが可能なことも特徴です。

埼玉県ではまだユニットケアの注目度は低いといいますが、これからは高度経済成長期に壮年期を過ごした「豊かな世代」が介護を受けるようになる時代。「多様できめ細やかなサービスを求める層がぐんと増え、特養もそれに応えなければならない時代がすぐやってきます」と、サービスの質を向上させた「21世紀の特養」の重要性を理事長は語ります。「たとえば理美容サービス。今でこそ外部委託による散髪は当たり前になりましたが、カラーやパーマまでとなるとまだまだ稀。『美しく老いる』ことを望む方たちがそうしたサービ



▲「入居者だけでなく職員も楽しく働けることを大事にしました」と理事長。バックヤードはピンク、倉庫は黄色と、大胆で心が浮き立つ内装がそこかしこに



▲「気分が華やぐこと間違いなし」と理事長が太鼓判を押すこちらはデイサービス用のスペース。まっ赤な花が壁に咲き乱れる

◀社会福祉法人 隼人会 理事長
根岸仁司様

▼この満開の笑顔なら、確かに入居者は癒されるはず。同園のユニフォームはアロハシャツ。支給のもの以外にも古着屋等で入手した自慢の1枚を着て楽しんでいるのだとか



▲個室は12.96㎡。部屋ごとに壁紙やカーテンを違えるなど内装に凝ったのも、入居者が少しでも楽しく暮らせるようにという配慮から

スを自由に選べるような、『豊かな介護生活』を我々は提供したいと思っています」

弊社の仕事ぶりには、ありがたいことに及第点をいただきました。「松永建設さんは現場がきれいなことに毎度驚きます。整理整頓が行き届いている。安全確保には欠かせない要素ですが、同じことは段取りや工事そのものに関しても言えて、非常にスムーズ。安心感や信頼性は言葉にすると軽いですが、かけがえのないもの。だって、ハラハラしながらで上がり待ちたくないですからね(笑)」メンテナンスなどを通して、今後も変わらぬお付き合いをさせていただければ光栄です。



▲食事はリビングでユニットごとに。「入居者が食べるものに無関心でいてはいけない」という理事長の信念で、職員も全く同じメニューを食べる

現場から

「3千坪という広い敷地での工事は非常に施工がしやすく、助かりました。スムーズな工事はお施主様と信頼関係を築けるかがカギ。毎週のように打合せの時間をとっていただき、要望を伺ったり進捗状況をご報告したりして連絡を密にしましたが、努力の甲斐があったようで何よりです」(建築事業部・津野信行所長)

小学校の「サケの放流集会・利根川クリーン作戦」をお手伝い、重機の試乗体験プレゼントに大はしゃぎ！

羽生市にある市立村君小学校は、利根川の自然を守る活動の一環として、毎年児童の手でサケの稚魚を放流しています。1991年にスタートした歴史あるイベントで、今年は第26回目。この恒例の「サケの放流集会・利根川クリーン作戦」が2月4日に行われ、弊社もそのお手伝いをさせていただきました。

放流場所は利根川の西岸、名(みょう)地区。ちょうど弊社が「H26名堤防強化(上)工事」を行っている現場だったため、土手から川岸までの約200mを歩きやすく整備、児童たちに安全にイベントを楽しんでもらえるよう計りました。当日放流された稚魚は約1500匹。児童が学校や自宅で約2か月かけて卵から孵化させ、体長4～5cmまで大切に育てた稚魚たちは、元気に利根川を泳いでいきました。サケは北の海で4～6年かけて成長し、生まれ育った故郷の川へ戻ってきます。「元

気で帰ってきてね～！」と手を振る児童もいて、微笑ましい光景が広がりました。

放流後にはもうひとつ、弊社が楽しい催しも用意しました。せっかくの工事現場です。ふさわしい体験をしてもらおうと、バックホウやブルドーザーを動かす試乗体験と記念撮影大会を実施。児童たちは初めての興味深い体験に、「わー」「きゃー」と大きな歓声を上げて楽しんでいました。

また、工事発注元である国土交通省利根川上流河川事務所・川俣出張所の永井所長から、挨拶と工事の意義を説明されると、じっと聞き入ったり、作業員によるバックホウの掘削作業の実演を食い入るように見つめたり。

弊社がプリンタを持ち込んで、その場でプリントした記念写真は、いいお土産になったことでしょう。そして最後は、学校へゴミ拾いをしながら帰るクリーン作戦で終了。命の尊さを感じ、豊かな自然環境を思いやる一日となりました。

当日の様子はテレビ埼玉でも取り上げられ、ニュースなどでも放映されました。



▲貴重な試乗体験に児童たちは大喜び



▲堤防工事が暮らしの安全を守る工事と知って、じっと聞き入る児童たち



▲再びサケが帰ってくる日を楽しみに

『NACK 5』ラジオCM 春のリニューアル

FMラジオ局『NACK 5』で放送中の弊社CMをこのたび一新しました。社内表彰を受けた優秀社員が出演しています。また、レーシングドライバーの青木拓磨さんも友情出演！ 月曜～金曜 AM8:30(大野勢太郎 WARMING-UP MUSIC内)、ぜひご一聴を。



▲新CMの録音はバッチリ！ 右は青木拓磨氏



▲大宮第二公園と第三公園の間を渡している歩道橋。通りがかりの際はぜひご覧を！

大宮第二公園前歩道橋に弊社名が刻字されました！

さいたま市の事業パートナー募集に賛同し、「歩道橋に通称名を命名する権利(ネーミングライツ)」を獲得しました。大宮第二公園前の歩道橋にご覧のように刻字されています。収益は歩道橋の維持管理費に充てられ、市民の皆様の安全・安心に寄与します。

本年度松永建設グループ 新入社員のご紹介

どうぞよろしく
お願い申し上げます！



(左から) 新井琢也/大野木友子/川元熙隆/小西啓太/清水智裕/須田亮介/町田萌/吉岡昂造/福田翔平

東京支店、富士見営業所 開設のお知らせ

このたび業務拡大に伴い、新たな拠点を2つ開設しました。どうぞご愛顧ください！

【東京支店】東京都千代田区鍛冶町2-4-8 エルベンビルディング
【富士見営業所】埼玉県富士見市針ヶ谷2-16-22

社長の 男気 コラム

「企業は人なり」「組織は生き物」だからこそ 変化・進化と柔軟性の蜜月関係

このたび「平成28年熊本地震」におきまして被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。冒頭の挨拶に代えて、被災地域の日も早い復興をお祈りいたします。

さて、新年度に身も心も引き締まる4月。皆様はどんな思いで新たな年度を迎えられましたか？ 私はと言うと、平成19年12月に社長に就任し、間もなく満9年、つまりは10年目に突入しようとしている事実に思い至り、感慨と共に新たな決意を胸に抱く年度の変わり目となりました。そのきっかけは車のレースです。

4月はレースのシリーズ開幕期。今年もシリーズを通して参戦します。今年度

は耐久レースとスプリント系のレース、両方にエントリーしています。シリーズの行方は追々当コラムでも書くことになっていそうですが、本題は別のところにあります。実はシーズン前の2月とこの4月とで、同じコースを走って3秒もタイムが違います。気温やコースコンディション、路面温度がタイムを左右するので、つまり環境やコンディションに合わせて、車のセッティングや戦略、チームの考え方で、ありとあらゆる要素を柔軟に変えていかなければなりません。そのとき、ふと思ったのが、「社長就任からの9年間を振り返り、自分はどうであったのだろうか？」と。

振り返れば、「先頭を行かなければ」

「会社を成長させなければ」と、ひたすらに走り続けてきた9年間でありました。しかし、走っていれば高速で流れてしまう景色を、ときには歩を緩め、私はちゃんと眺めただろうか。目を凝らし、景色の移り変わりに敏感でいられたのだろうか――。

9年と言えば、建設業界や弊社を取り巻く環境も変われば、社員のありようも変わります。22歳の新入社員は31歳に。32歳は41歳の中堅社員に。それぞれ背に、肩に担うものは確実に変わってしかるべき歳月です。外に向け、顧客の感動創造に努めることは何よりも大切ですが、同時にしっかり社員と向き合うことも疎かにしてはなりません。



▲ホンダ・フィットを駆って今年も頑張ります！

社員ひとり一人の変化や成長を認めた上での人材配置やマネジメントの形など、人の集まる「組織としての真の成長」を遂げなければ…と心に刻みました。なぜなら「企業は人なり」、それが私の信念だからです！ 松永建設という企業の底力を鍛え、ひいては総合力を上げていくことに力を注ごうと改めて誓った春なのでした。